

Walk KINJO [ウォーク]

金城大学短期大学部
広報誌 #04 2019
年発行

満員御礼 金城祭in 2018

大 学短大共同の恒例「金城祭」が10月20日(土)21日(日)に開催されました。第43回となる今回は、「Connecting～みんなでつながる金城祭～」がテーマ。「つなぐ」というテーマにふさわしく、来場者と学生、アーティストと観客、学生同士など、たくさんの人たちがつながった感動の2日間でした。毎年金城祭をおおいに盛り上げてくれる模擬店のテントストリート。今回は学内42、学外6の計48店舗が出店、老若男女を問わず、大勢の来客で賑わっていました。たこ焼き、焼きそば、フランクフルトなどの定番メニューはもとより、チュロス、タピオカ、チョコバナナなどのスイーツ、水餃子、トッポギ、ベトナムコーヒーなど国際色豊かなメニューが並びました。アーティストライブは、2013年にシングル『Only One.』でメジャーデビューした「ハジ→」。当日のステージでは、せつない『カタオモイ。』や『あの空を見上げながら。』などを披露。DJ U-ICHI (HOME MADE 家族)や侍とともに、ステージを盛り上げてくれました。その他、ダンス部によるパフォーマンス、音楽部によるライブ、美術学科によるライブペインティング、クラシックコンサート、こどもお楽しみステージ、各学科展示など今回も盛り沢山の2日間となりました。



チーム 金城の底力

カーの使い方を指南するといった本格的な内容で、350名以上の4年～6年の小学生が参加します。学外での現場体験です。最初は会場の雰囲気に圧倒されていた学生も、活動を楽しむようになり、どんどん意見を出して来るようになります。学生それぞれが役割をこなし、課題を見つける。そこに成長を感じますね。



地域連携で必要なものは?
大きな組織で動くことになり、何といてもチームワークとコミュニケーションでしよう。チームワークを活かすには、事前に綿密な計画や役割分担を決めて、学生が動きやすい環境を準備することが大事ですね。それには教員が中心になってはだめで、あくまでも相談役であるべきです。できるだけ学生と顔を合わせコミュニケーションをとるよう心がけ、信頼関係を作っておく必要があります。

金短生のいいところって?
地域連携などを通して感じるのですが、まず素直なところでしょう。それから人とかかわることが好きで、明るく元気、思いやりのある学生が多いと思います。人に何かを提案されると、とにかくやってみようと思います。勉強などについても、教員のいうことを素直に聞いてくれるので、伸びるのが速いと思います。
分かる ようになれば楽しくなりますし、楽しくなればどんどん自分で勉強していきます。学生にいうことを聞いてもらうには、我々教員が学生一人一人の個性や課題を見抜いて適切なアドバイスをするのが大切なのですが、私はそのために「学生にはとことんつきあう」ことを心がけています。

これから金城短大を目指して入学する高校生へ一言お願いします

道の駅「めぐみ白山」 オープニングイベント参加

4月28日地元白山市の要請を受け、本学学生が道の駅「めぐみ白山」でのオープニングイベントに参加しました。ダンス部によるダンス公演と、社会福祉学部の学生による白山市のキッチンカーを使ったドライカレー 300食の販売。会場は大いに盛り上がり、ドライカレーは完売となりました。



誕生! Shinny Leaders

Shinny Leaders (シャイニーリーダーズ)は、2018年5月に発足した3学科合同の学生リーダー組織です。「Shinny」とは「Shine」+「Funny」=Shinnyであり、「輝く愉快なリーダーたち」という意味がこめられています。各学科から選ばれたリーダー学生たちが集い、学科の垣根を超えた1つのチームとして学内外で活躍しています。
(◎関連記事 4頁「金短サミット」)



Interview

ビジネス実務学科
瀬戸 就一
学生には +
とことんつきあう +



白山商工会議所主催のイベント「サマーフェスティバル HAKUSAN」などの参加を通じて、地域連携に尽力されている瀬戸先生に、チームワークの大切さや教育、そして金短生についてお話を伺いました。

サマーフェスティバル HAKUSAN とは?
白山商工会議所が松任総合運動場で年に1度夏に開催する一大イベントで、毎年約40000人が集まります。KARA 旨グランプリ(激辛グルメグランプリ)や子どもの就労体験などが催されるのですが、私のゼミは過去3年間、就労体験(サマフェス・キッズランド)のお手伝いをしてきました。これは約30の職業をそれぞれ白山市在住のその道のプロが指導するという就労体験で、警察官が指紋の取り方を指導したり、建設会社がショベル

やりたいことが分からないという学生は意外に多いと思います。金城短大は、ワクワクするような体験やさまざまなカルチャーショックを受けることで、やりたい何かを見つけられる短大だと思っています。本学でいろいろなことに挑戦してみてください。自分の可能性を信じて一歩前に踏み出せる人は、どんな壁も乗り越えられると思いますよ。金城短大と一緒にチャレンジしてみませんか。私たちが全力で応援します。



<プロフィール>
瀬戸 就一 富山市出身。埼玉大学大学院理工学研究科修了。1987年本学着任。福祉情報システムの研究で障害者のための教育研究活動を行う。科研費2回採択。現在は、古書点字の復元を行う研究に携る。

学長就任
おめでとうございます。
新学長としての短大への
想いをお聞かせください。

新学長: 1976年開学の本学には43年の歴史がありますし、これまでの学長が代々育て上げてきた金城短大があります。その伝統を大切にしながら、自分なりのカラーを出していきたいと思っています。私の専門は環境デザインです。環境デザインとは、自分たちの環境をどう変えていけば自分たちがより幸せになれるかを考える学問です。ですので、どのようなキャンパスにすれば学びの効果があがるのかを考えていきたいと思っています。例えば、キャンパスに入った際に、きれいな花や気持ちのいい景色に迎えてもらえると、心地いいですよ。そういう簡単なところから始めたいと思っています。

今回のテーマは
「金城短大のチーム力」。
新学長はそもそもチーム力を
どうお考えですか？

新学長: 社会に出ると絶対必要な力ですね。私の経験からお話しますと、私は以前、造園に携わっていたことがあるのですが、職人にはそれぞれこだわりがあり、癖があります。技も感性もたいへん多様です。そうなると、何が正しいのかわからなくなる場面が必ず出てくるものなのです。やはり仕事仲間がいてチーム力があるという環境があって、はじめて人は力を発



金城のチーム力
金城短大の学生は、明るく、元気で、素直なところが長所だといわれることが多いのですが、実はコミュニケーションをとりながらチームで活動することもなかなか得意なのです。今回は、この金城短大生の隠れた魅力である「金城のチーム力」をテーマに、4月就任の加藤博新学長と、各学科を代表するシャイニーリーダーズの学生が対談を行いました。

(*この対談は学長就任前の1月31日に行われたものです。)

背景は、大森春香さんの作品。
春らしさと自分らしさを
コンセプトとした
「ぼかぼかうさぎ、ぼこぼこうさぎ」
という作品(2019年製作)です!

これをそれ以外の多くの学生に広げるには、どうすればいいとお考えですか？

新学長: それは大きな問題ですね。シャイニーリーダーズを通して、学科間のチーム力が今ようやく見えてきたところです。今後、教職員や学生リーダーを含めたオール「チーム金城」でこたえを見つけていきたいと思っています。

新学長が感じている金城短大の魅力とは何でしょうか？

新学長: 教員との距離が近い、わからないことがあったり、話を聞きたい、相談をしたいという時に、学生がいつでも教員のもとへ聞きに行ける環境があるという伝統でしょうか。近すぎて友達のようなになるのは問題かもしれませんが、卒業しても付き合い合える関係が続くというのは素敵なことだと思います。

鈴木: 私は、あたたかい短大、卒業しても戻ってきたい場所。そういう風を感じています。

学生からの質問です。

大森: 学生食堂について質問します。私



加藤 博
金城大学短期大学部学長

出身大学: 大阪大学
出身大学院: 京都府立大学大学院
専門分野: 環境農学
趣味: 篠笛、香道、鯉物鑑賞



吉田 明日香
ビジネス実務学科

出身高校: 金沢伏見高校
趣味: バスケットボール
進路: 金城学園



鈴木 愛莉
幼児教育学科

出身高校: 小松商業高校
趣味: 歌うこと、読書
進路: 保育士



大森 春香
美術学科
油画・日本画コース

出身高校: 石川県立工業高校デザイン科
趣味: 絵を描くこと、ハンドメイド作品を見ること
進路: デザインに関わる仕事に就きたい

揮できるのだと思います。

吉田: チーム力をつけるにあたって、何かコツのようなものはありますか？

新学長: まずは挨拶でしょう。挨拶を交わすことで、相手の感情や体調、その他

いろいろな情報のやり取りができます。次に距離の取り方が大事ですね。ヤマアラシの有名なたとえ話がありますが、近すぎても遠すぎてもいけません。それから相手を受け入れるということも必要です。社会で生活していると正解のない問

題によく直面しますが、そこで我を張り過ぎると進むものも進まなくなります。

大森: 私の所属する美術学科は個人主義の人が多いのですが、そういう場合はどういう風にチームワークを強くすればいいと思いますか？

新学長: 1人でやらなければならない時は、1人でやればいいと思います。そこはあまりチームにこだわる必要はありません。ただ、チーム力とっていいかどうか分かりませんが、どうしても誰かの助けが必要な時に、「だいたいどうぶ？」と声をかけてくれる誰かがいる、そういう環境があることが大切だと思います。

鈴木: 私たちは皆シャイニーリーダーズのメンバーなので特に感じますが、シャイニーリーダーズが結成されたことで、学科間の壁がなくなったように感じます。

はサバの味噌煮が大好きなメニューなのですが、学長がお好きなメニューは何でしょうか？

新学長: たまに食べるカレーですね。現実的ではありませんが、インド料理が好きなので、タンドールでナンを焼くインドカレーがあるといいなと思います(笑)。

吉田: 趣味はお持ちですか？

新学長: スポーツは柔道が初段です。学生と一緒に、白山登山に参加したこともありましたね。それから京都にいた頃は、篠笛を週1回、2年程習っていました。あとは、鯉物コレクター。香道を少々。

吉田・大森・鈴木: 今日はありがとうございました。



新学長への
エール

2014年に学長に就任し、5年間の任期中、新たな教育プログラムの開発、ビジネス実務学科フードビジネスコース、美術学科インテリア・コーディネートコースの新設など、地域のニーズに応える改編を行ってきました。また、昨年度には創立40周年を迎え、記念事業として施設・設備の改修なども行い、ソフトとハードの両面から前進できたと考えています。

加藤真一(理事長/2019年3月末日まで学長) 昨年11月には、文部科学省から「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」が示されました。これからますます改革が求められる時代になります。新学長には、本学が時代の要請に応える、より一層地域に根差した短期大学となるよう、更なる発展に尽力されることを期待しています。

キラキラのキャンパスライフを
歩む学生たちをご紹介します

KINJO WALKER

10

幼児教育学科
西出 奈津

シャイニーリーダーズと コミュニケーション能力

私が短大で一番大きく変わったきっかけは、学生リーダー組織の「Shinny Leaders」に参加したことです。

学生リーダーになり、研修やオープンキャンパスのガイドリーダーなどたくさんの経験ができました。中でも一番貴重だったと思えることは、リーダー組織には短大の3学科の学生が集まっているので、普段関わることのできない他学科の学生との関わりができたことです。たくさんの人と関わることで、コミュニケーションの大切さに気づき、コミュニケーションの力が身についたと思います。はじめは自分の意見を言うといいのかとても悩み、受け入れてもらえるのかという不安もあり、とても怖かったです。しかし、回数を重ねていくうちに、自分も意見を言わなければいけない場面が増え、自然と意見を言えるようになったと思います。そしてその意見を受け入れてもらったことで、大きな自信につながりました。

また意見を言う上で一つ学んだことがあります。それは自分の意見を押し付けるだけではなく、相手の意見も聞くことが大切であるということです。私は、「自分の意見が絶対に正しい」と思っずずっと発言をしていました。しかし、他の人のいろいろな意見を受け入れないで接していることは、自分にとってマイナスであるということを知り、リーダー組織に参加してはじめて学ぶことができました。

これから保育の仕事をするうえで、コミュニケーションの力というのは何よりも大切なものだと思います。学生リーダー組織に参加してその力を身につけたことは、とても大きいものだったと思います。



11

ビジネス実務学科
濱野 真弓

失敗を恐れず 果敢にチャレンジ

私は昔から自分に自信が持てず、人前で発言することも避けており、自分のことが好きになれませんでした。ですが、「このままではいけない」と思い、自分を変えるために本学に入学しました。入学後の2年間には、自分を変える多くの「チャンス」があり、様々なことに挑戦してきました。

最初に力を入れたことは、資格取得です。1つずつ取得する度に自分の力になっていることを強く実感し、努力に結果がついてくることで、自然に次々とチャレンジすることができました。そのおかげで、履歴書には多くの取得資格を書くことができ、少し自分に自信がもてました。

また、積極的に学生リーダー活動もしました。学科の「リーダー研修」では、意識の高い仲間たちと共に取り組むことで、話すことや人前に出ることに苦手がいつの間になくなっていました。研修前は不安の方が大きかったのですが、気づけば「楽しい!」と強く感じており、これを機に今年度から新しくできた学生リーダー組織「Shinny Leaders」への加入も自ら希望しました。Shinny Leadersでの活動では、他学科の人たちとも関わることができ、視野も広がりました。さらに私は、京都で開催された「学生FDサミット」という外部の研修にも参加させていただくチャンスをいただき、他大学の学生・教職員の方々とお話ができたことも、よい刺激でした。何よりも、Shinny Leadersのみんなで意見を出し合い、協力して同じ目標に向かって頑張るといことが、本当に楽しかったです。常に仲間から刺激をもらい、互いに高め合いながら1つずつのことに取り組むことができ、自分を大きく変える経験になったと思っています。

このような活動を通して変化したことは、自らの意見を主張できるようになったことです。私は、ゼミ活動の一環としてteam「ヒショケン」という秘書検定の面接指導を行う指導学生組織の立ち上げに携わりました。初めて人に「教える」という立場になり、不安もありましたが、「もっとこうした方が効率的ではないか」などと発言すると、「いいね!」と言って賛同してくれる仲間にも支えられ、私たちが教えた後輩たちが全員合格するという目標も達成し、とてもやりがいを感じた活動でした。同時に、自らの意見を発言することの大切さも学ぶことができ、さらに自分の殻を破れた気がしています。

この2年間、失敗を恐れず、様々なことに果敢にチャレンジしたことで、自分を変えることができました。もちろん、苦手なことへのチャレンジの裏にはいくつもの失敗や苦労もありました。それでもここまでめげずに乗り越えることができたのは、一緒に頑張る、支え合える友人がいたからです。そして、心が折れかけたときに何度も何度も救って勇気づけてくださった先生方がいたからです。大切な仲間に出会えたことで本当に充実した2年間を過ごすことができ、私にとってかけがえのないものになりました。たくさんの感謝でいっぱいです。



12

美術学科
デザイン・ビジネスコース
越野 琥珀

金短美術で 創りあげられた新たな私

美術学科での2年間は、様々な作品と共に、私自身も創りあげられたと感じます。

今までの私は、自分に自信が持てず常に不安と隣りあわせでした。しかし、小さい頃から大好きだった美術だけは続けたいと、金短の美術学科に入り、デザイン・ビジネスコースで日々パッケージなどの制作に励みました。金短美術は、2年次に行われる「公開オーディション」や公募への応募を通じ、外部に向けて自分の作品をアピールする機会が沢山あります。

好評から批評まで、様々なご意見をいただく中で、喜怒哀楽(その他もろもろ…)の感情はありましたが、自分はどんなデザインが得意で何が苦手なのかを自覚することができましたし、苦手を克服しようと多くの努力をすることができるようになりました。正直、制作に没頭するあまり睡眠時間はめちゃくちゃ減りました…笑

ですがその分、一球入魂した自分のデザインが人に認められて実際に世に出た時には、跳びあがるほど嬉しかったですし、次の制作への自信にも繋がりました。

また私は、様々な場所でプレゼンテーションをすることが多々ありました。その経験ができたからこそ、今では人の前で堂々と発表ができるようになり、たとえ失敗してもそれを次に生かす力が身についたと感じています。

これからも、挫折や睡眠不足が多々あるかもしれませんが、金短美術で創りあげられた新たな私で沢山の人の笑顔にできる作品を作りつづけていきたいです。



金沢弁護士会に採用されたロゴマーク



「こたより」(レターセットのパッケージデザイン/オーディション作品)

<p>平成 30 年度 教員紹介</p> <p>3月末日まで在職の3学科の 専任教員をご紹介します(五十音順)</p>	<p>B ビジネス実務学科 (11名)</p> <p>BUSINESS</p> <p>ビ/井戸 健敬 ビ/井上 克洋 ビ/蘭森 喜美 ビ/岡野 絹枝 ビ/加藤 博 ビ/瀬戸 就一 ビ/中原 亜紀美 ビ/廣瀬 元 ビ/藤元 宏一</p>
	<p>C 幼児教育実務学科 (13名)</p> <p>CHILD</p> <p>幼/朝倉 喜裕 幼/石野 友子 幼/太田 淳子 幼/ガトウ エスタウト 幼/百海 智 幼/中村 明成 幼/三浦 哲志</p>
	<p>A 美術学科 (7名)</p> <p>ART</p> <p>美/新井 浩 美/大谷 友理 美/権田 宜子 美/東田 修一 美/本山 二郎 美/堀 一浩 美/和田 紘樹</p>

平成30年度 第43回 入学式

平成30年度の入学式が4月3日(火) 白山市鶴来総合文化会館クレインにて行われ、幼児教育学科、美術学科、ビジネス実務学科、美術学科研究生、留学生別科の合計294名が希望に胸をふくらませ本学の門をくぐりました。式典では、新入生代表として幼児教育学科の山口真央莉さんが、今後の学生生活への抱負を述べました。また入学式終了後は、本学にて新入生オリエンテーションと保護者説明会を行い、新入生は本学の一員として一歩を踏み出しました。



平成30年度の入学式が4月3日(火) 白山市鶴来総合文化会館クレインにて行われ、幼児教育学科、美術学科、ビジネス実務学科、美術学科研究生、留学生別科の合計294名が希望に胸をふくらませ本学の門をくぐりました。式典では、新入生代表として幼児教育学科の山口真央莉さんが、今後の学生生活への抱負を述べました。また入学式終了後は、本学にて新入生オリエンテーションと保護者説明会を行い、新入生は本学の一員として一歩を踏み出しました。

危険から身を守る！ 生活安全講習会

7月30日(月)に学生及び教職員を対象にした生活安全講習会を開催しました。講師に白山警察署生活安全課の堀田係長をお招きし、生活安全に関する講習と不審者から身を守るための護身術を学びました。学生や教職員は、白山警察署のゆるキャラ「はくさんくん」や警察の方の指導を受けながら、実際に体を動かして護身術を会得します。防犯に対する意識を高めるとともに護身術も身につけられる有意義な講習会となりました。



四季折々 玄関ホールの飾りつけ

金城短大では、学生が季節を感じ楽しめるように、節目節目に玄関ホールに飾りつけを行います。今回紹介するのは、ハロウィンとクリスマス。粋で素敵な飾りつけが、寒い季節の学生の気持ちを盛り上げていきます。



新・金城イルミネーション 2018 ~Connecting KINJO~



平成20年度から実施してきた電飾の設置は、10回目を節目に一区切りをつけ、今年度から「新・金城イルミネーション2018 ~ Connecting KINJO ~」として装いを大きく変えました。白山市の協力のもと、市所有の環境に優しいペットボトルをイルミネーションに新たに使用し、さらに初の試みとしてプロジェクションマッピングも行っています。毎年どんどんイベント性を高めてきている金城イルミネーション。2019年のイルミネーションを楽しみにお待ちください。

2018.04→2019.03 金城短大(全体)



Kinjo Sports Festival 体祭

5月11日、金城祭と並ぶ本学二大イベントの1つ、体育祭が開催されました。午前中にはバスケットやバレー、フットサル、ソフトボールなどの球技が、午後からは綱引きやチームジャンプなど大人数の参加する競技が中心に行われました。体育祭を締めくくるクラス対抗リレーでは最高の盛り上がりを見せてくれました。

平成29年度 金城学園財務概要

事業活動収支計算書

科目		金額
教育活動収支	教育活動収入計	3,862,362
	教育活動支出計	3,672,352
	教育活動収支差額	190,010
教育活動外収支	教育活動外収入計	5,227
	教育活動外支出計	23,245
	教育活動外収支差額	-18,018
経常収支差額		171,992
特別収支	特別収入計	71,010
	特別支出計	863
	特別収支差額	70,147
基本金組入前当年度収支差額		242,139
基本金組入額合計		-238,790
当年度収支差額		3,349

貸借対照表

資産の部		金額
固定資産		10,230,066
有形固定資産	9,635,818	
特定資産	510,583	
その他の固定資産	83,665	
流動資産	2,581,134	
資産の部(合計)	12,811,200	
負債の部		金額
固定負債		1,814,928
流動負債		726,335
負債の部(合計)	2,541,263	
純資産の部		金額
基本金		14,090,723
繰越収支差額		-3,820,786
純資産の部(合計)	10,269,937	
負債及び純資産の部(合計)	12,811,200	

※詳しくは、金城学園ホームページ <http://www.kinjo.ac.jp/> をご覧ください

つながる～短大と四大 高大連携フォーラム

8月4日(土)に金城大学・金城大学短期大学部共催の高大連携教育フォーラムを開催しました。今回のテーマは、「未来の教育をかたちづくる高大連携～学生が社会で輝くために私たちはどんな課題を解決すべきか～」。基調講演には、NPO 法人 NEWVERY 理事の倉部史記氏をお招きし、「未来に向けた高大接続のあり方と現場の課題」についてお話しいただきました。その後のシンポジウムでは、「若者が社会で輝くために、私たちはどんな課題を解決すべきか」をテーマに、基調講演講師の他、大学、高校、企業を代表する方々との間で、熱い議論が交わされました。金城学園は、より実践的な教育を目指し、これからも、高校、短大、大学、企業、施設との連携を深めていきます。

つながる～3学科 新リーダー組織誕生 金短サミット

5月19日(土)・20日(日)、グランドホテル白山において、幼児教育学科・美術学科・ビジネス実務学科の3学科から選ばれたリーダー学生による合宿研修、名付けて「金短サミット2018」を開催しました。これまで、学科ごとにリーダー研修は実施していましたが、3学科合同での研修は今回が初めての事です。研修にはファシリテーターの専門の先生にお越しいただきました。様々なワークを通して、学生たちが自分たちの壁を「K:こわして」、「新しい仲間と「T:つながり」、自分のこと、他人のこと、金城のことを改めて「S:しる」、「KTS(金短サミット)」となりました。2日間の最後に、この3学科合同のリーダー組織の名称を参加者全員で考え、シャイニーリーダーズに決定しました。



ご卒業おめでとうございます 平成30年度 第42回 卒業式

卒業式が平成31年3月16日(土) 白山市松任文化会館で開催され、幼児教育学科161名、ビジネス実務学科112名、そして美術学科67名の合計340



名が希望に胸に本学から巣立ちました。全学科を代表して美術学科の上田のんさんに卒業証書・学位記が授与され、幼児教育学科1年の高田綾乃さんの送辞に、ビジネス実務学科の廣田栞さんが答辞で応じました。本年は特別表彰として、優れた作品制作、美術学科の越野瑚舶さんに理事長賞が贈られました。卒業生一同は、夕方からホテル日航金沢で行われた卒業パーティに参加し、卒業の喜びをともに分かち合いました。



新入生合宿研修

4月14日～15日、羽咋にある国立能登青少年交流の家でビジネス実務学科の新入生合宿を行いました。新入生全員と2年生のリーダー（今年は30名）、そして学科の教員が参加する恒例の行事です。この合宿の目的は、新入生がキャンパスマナーやコミュニケーションについて学び、友達とのネットワークづくりやチームワークを経験して人と協力し合う力を向上させることにあります。1日目のプログラムは、学科長の講話、昼食をはさんでビジネスマナー研修、石川県主催の外部講師によるキャリアセミナー、学生生活に関するマナー研修（SNS、飲酒、喫煙）、そして体を動かすレクリエーション研修、夕食後にクラス別研修です。2日目は、コミュニケーション能力向上をはかるグループワーク研修をクラス別で実施し、その後にインターンシップ事前研修を受け、野外炊飯を行いました。



スピーキングパートナー活動 道の駅「めぐみ白山」

藺森ゼミでは、日本語学習中の留学生の日本語会話パートナー「スピーキングパートナー」活動をしました。いつもの教室を飛び出し、昨年4月にオープンしたばかりの道の駅「めぐみ白山」へ、留学生別科の留学生たちと一緒に行きました。留学生たちの国では野菜の値段が安いこと、日本のスーパーで当たり前になっている野菜が売られていないこと、学生たちがよく食べているスナック菓子が留学生の国にもあること、しかし、日本と商品名が違うことなど、驚きの連続でした。4月から始まったスピーキングパートナー。ゼミ生たちは、毎回、留学生を通して新しい発見をし、世界が広がっていくことを実感しました。同時に、わかりやすく日本語で話すことの難しさ、自分の国のことなのに知らないことが多いことに気づきながら、一步一步、留学生との交流を深めました。



ALL白山青年サミットへ協力 矢澤ゼミ

白山市内の商工青年団体でつくる「ALL白山青年サミット」は、白山市への誘客に向けた事業に取り組んできました。今回活動の一環として美川地区の食や自然、祭を取り上げ動画化することとなり、SNSの運用に詳しい本学科矢澤ゼミにその制作の協力依頼がありました。同ゼミでは、県無形民俗文化財のおかえり祭りや、美川漁港でのシラス漁を動画にまとめます。動画は「美川でやってみた」とネット上で検索することで、簡単に見られます。また、道の駅「めぐみ白山」でも上映されています。



2018.04→2019.03

ビジネス実務学科



5年連続 秘書検定1級 3人が合格

難関試験「秘書検定」1級に2年廣田栞さん、宮永愛弓さん、西村ななみさんの3人が合格しました。秘書検定1級は受験者の多くが現役秘書をはじめとする社会人であり、短大生にとっては非常に難度の高い検定試験です。このため、ビジネス実務学科では、受験希望者が自由に参加できる対策講座を設けて、筆記試験対策から面接対策まで個別指導を含めた充実の指導体制を敷いています。



ビジネス文書検定 「文部科学大臣賞」 3年連続受賞!



公益財団法人実務技能検定協会の「文部科学大臣賞」団体の部に選ばれました。対象になったのは「ビジネス文書検定」です。個人では堀下晴菜さんが1級優秀賞、西田美奈子さんが2級優秀賞を受賞しました。また、「サービス接客検定」でも団体優秀賞を受賞しました。



国内旅行研修 (京都・大阪)

今年度の「国内旅行研修」にはホテル・観光コースとフードビジネスコースの学生40人が参加しました。今回は世界一のサービスと称されるザ・リッツカールトンホテル大阪での研修をメインに、伊勢や京都での観光研修を計画しました。しか

し、研修初日に巨大台風の上陸が予測されていたので、伊勢への行程を変更し、福井県でそば打ち体験を行いました。2日目はいよいよリッツカールトンホテルでの研修です。チャペルやレストラン、リッツカールトンスイートの見学だけでなく、バックヤードも見学させていただきました。また、このホテルでの宿泊体験も重要や経験であり、学生たちは優れたサービスの整った環境をゆったりと味わうことができました。最終日は、ホテルでの朝食後、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでの研修を行いました。



「火おこし体験」と「サイクリング」 「アウトドア演習」

6月1日～2日の1泊2日で、集中講義「アウトドア演習」の「野外炊飯（火おこし体験）」と「手取キャニオンロードサイクリング」を実施しました。1日目は白山青年の家で火おこし体験。火おこし器を利用するグループ、薪と炭だけで火を起すグループ、着火剤を使うグループ、新聞紙を利用して炭に火を入れるグループの4つに分かれ、火おこしを体験しました。2日目は「道の駅瀬女」を目指してサイクリング。



授業でのサイクリングは今年で4回目となります。朝から天気が良く、熱中症が心配される気温でしたが、サポートカーが運ぶドリンクで細かく休憩を取りながら、全員が全行程を走破しました。

第9回 「金城ビジネス学会」

2月9日（土）、「金城ビジネス学会」第9回年次大会を開催しました。金城ビジネス学会では、ビジネス実務学科の2年生が1年間にわたって行った研究活動の成果を発表します。研究活動は産業界の協力を得ながら行っており、夏には5分科会に分かれて「中間発表会」を行いました。今回の発表会は1年間の集大成です。参加者数は、発表者の2年生をはじめとして、ビジネス実務学科1年生、地域の方々、行政・産業界の方々などからも参加をいただき、総勢で250名を超える人数となりました。発表件数は30件で、2会場に分かれて開催。各会場100名を超す聴衆の中、2年生は緊張しながらも立派に発表をこなしました。また、多くの発表が地域の団体・産業界と連携したこともあり、外部の方々からも多数の質問が出ました。全発表終了後、別会場でのポスターセッションも盛況に終わりました。



パネルシアター制作 & 発表会

1 年生は、8～9月の期間、「保育教材演習」という授業で「パネルシアター」をとりあげ、作ったり演じたりします。「パネルシアター」というのは、絵人形を使って話や歌遊びを楽しむ教材で、発案されたところから金城大学短期大学の授業にも取り入れられています。

前半の8月6～9日では、絵人形の下絵を描いたり、色を塗ったり、また、パネル板も学生が作りました。ポスターカラーで丁寧に色付けされた作品は、同じお話でも1人ひとり違って味があり、手作りの良さを感じられる作品となりました。

後半は発表です。9月25、26日に、20人ずつのグループに分かれ、1人ずつ発表していきました。始めは「どきどきする～」と緊張していた様子でしたが、一緒に歌をうたったり、話に大笑いしたりと和やかな発表会になりました。



保育実習

学 生は2年間を通して、保育所、幼稚園、施設に合計50日実習にいきます。実習では、短大で学んだことを活かし、オムツを交換したり、手遊びやパネルシアター等を行ったり、子ども達が毎日笑顔で楽しく過ごせるようにします。

「ドキドキ」しながら始まった保育実習！同じ目標を持った仲間と相談したり、協力したり、時には、悩みを打ち明けたりしながら、頭と体で学んでいきます。実習が終わるころには、学生の顔は保育者の顔に変わっています。



親子かかわり体験

1 年生の「乳児保育」という授業では「親子関わり体験」という取組みを行っています。白山市内にある「認定 NPO 法人おやこの広場あさがお」の協力により、のべ 25 組の乳児とその親御さんに来学いただきました。生後間もない赤ちゃんとのふれあいや親御さんのおしゃべりは、学生にとって緊張と興奮と学びの多いひとときです。

この体験を通して、保育者にとって必要不可欠な「子どもが好き」という気持ちが高まり、保護者と話をすることで「親の思いを知る」こととなります。



第40回 ミュージック フェスティバル

表 現学習の成果発表の場として毎年開催しています。40 回目となる今回は「親子で楽しむKinjo Waku Waku World」と題して、子どもたちの大好きな歌やおはなし、遊びを取り入れ、親子で楽しんでもらえるように企画しました。2年生が総出演し、歌やダンス、着ぐるみ劇、英語ミュージカル、マーチングなど披露しました。会場の金沢市文化ホールにはたくさんのお客さんが来場し、温かい声援や拍手を送ってくれました。



保育力をつける!

2018.04→2019.03 幼児教育学科

実習報告会

例 年秋には、学科で実施される全ての実習を終えた2年生が、1年生に向けて実習での学びや気づきを発表する「実習報告会」が開かれます。今年度は11月10日に本学大講義室で行われました。シンポジウムA（保育所（園）・幼稚園の部）では、2年生の各クラス代表が実習の様子や学んだ事などを総括し発表しました。また、歌や手遊びなどの紹介もあり、2年生から1年生へのエールも送られていました。シンポジウムB（施設実習の部）では、2年生が心を揺さぶられた経験談をリアルに語り、1年生は熱心に耳を傾けました。2年生にとっては自分の成長を確認できる機会になり、1年生にとっては未経験の不安を和らげる機会になります。



地域の保育者として 羽ばたく

「就職状況」

保 育園・こども園・幼稚園の求人件数は、北陸三県で今年度も約300件以上ありました。実習を終えてから12月までには、ほとんどの学生が就職を決定しています。公務員試験（正規保育士）合格者には7名の採用がありました。本人の希望に沿って、保育に詳しい教職員がきめ細かな支援を行い就職まで導きます。本学の保育関係の就職率は100%です。

第42回 金城大学短期大学部 美術学科 卒業制作展



2月6日～11日、金沢21世紀美術館1階市民ギャラリーにおいて卒業制作展を開催しました。6コースの2年生68名、研究生11名、留学生1名の80名による熱気溢れる展示となりました。デザイン・ビジネスコース優秀賞の越野琥珀さんの「罇」はお菓子やネクタイなど様々なものを、「罇」をキーワードにパッケージデザインをした作品で、綿密に練り上げられたデザインが学生レベルを超えていると、高い評価を得ました。またマンガ・キャラクターコース優秀賞の阿部由佳さんの「死面」は突然訪れた自分の死から生き返ろうと葛藤する3人のキャラクターの内面を、現代的な絵柄と丁寧な心理描写で展開し、読むものを唸らせる作品でした。ゲーム・映像コースの展示スペースではvtuber体験のコーナーを設置し、たくさんの子供が楽しんでいました。今年は昨年と違って積雪が全くなく天候にも恵まれ、また中国の春節のシーズンとも重なったため多くの来場者があり、過去最高の9386名もの方々に作品を見ていただきました。

美術文化研修 国内研修旅行

本年度の美術文化研究は台風のため、海外研修は中止になり、その代替として国内研修を行いました。行き先は大阪・神戸・徳島で研修を行いました。1日目は風情のある神戸異人館街の散策をしました。2日目は淡路島からうずしおクルーズで大迫力のうずしおを見学し、その後、大塚国際美術館で陶板で複製された有名絵画の鑑賞をしました。3日目はUSJで最新のエンターテインメント業界を体験しました。3日間と短い研修でしたが、国内の魅力を見学できる良い研修になりました。



16th Kinjo Art Showcase

2月23日、金沢21世紀美術館シアター21において第16回ファッションショー「Kinjo Art Showcase」を開催しました。ファッション・スタイリストコース学生5名、染色専攻学生5名による2年間の集大成の発表会です。黒を基調とし、赤をアクセントとしたスタイリッシュな作品や、純白で統一されたかわいいういドレス、「和」をテーマとしたドレスなどを発表しました。また、各デザイナーのコンセプトに合わせた、ゲーム・映像コースやマンガ・キャラクターコースの学生が製作した映像が背景に投影され舞台上に華を添えました。天気にも恵まれたため多くの来場者があり、有終の美を飾りました。



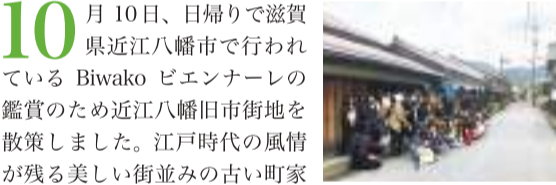
千代女アート Project in 2018

地域連携事業の一環として、白山ロータリークラブとの共同プロジェクトがスタートして5年目となります。2年生全員が取り組む、白山市ゆかりの加賀の千代女で白山市をアピールするプロジェクトです。最初の3年間は松任駅や金沢駅で千代女をテーマにしたアートショップを開店し、白山市をアピールしました。その後、千代女のキャラクター開発に着手し2年目となりました。前年度は6つのキャラクターを決定しました。今年度も市内や学園祭で展示し投票結果をもとに、6つのキャラクターを決定したところ。次年度も6つを決定する予定で合計18の様々なテイストの千代女キャラクターが誕生する計画です。これらのキャラクターは白山ロータリークラブを通じて自由に使用できる設定となっているので今後、商品やPR活動など様々な活用方法が期待されています。またこのプロジェクトの一環として、9月16日には千代女通り商店街に面する聖興寺で、千代女をテーマにしたプロジェクションマッピングも前年度に引き続き行われ好評でした。

2018.04 → 2019.03 美術学科

地域美術演習 Biwako ビエンナーレ見学

10月10日、日帰りで滋賀県近江八幡市で行われているBiwakoビエンナーレの鑑賞のため近江八幡旧市街地を散策しました。江戸時代の風情が残る美しい街並みの古い町家や酒蔵を利用し、アート作品を展示する国際芸術祭です。今年の地域美術演習の作品テーマは20cm×20cm×20cmの箱の中のアートということで、現代アートからヒントを得て、空間演出がどのように行われているのかに注目してイメージを膨らませました。また、成果展として11月11～11月25日にかけて白山美術館にて作品展示を行いました。箱の中のアートや各コースの特色を生かしたポスター、企画、絵画、キャラクター提案など多彩な展示になりました。



平成30年度 美術学科受賞・採用・連載一覧

愛知県印刷工業組合主催 第9回 ポスターグランプリ	東京インキ株式会社賞 入選	越野翔船(2年) 三宮かれん(2年)
第45回 石川県デザイン展	銀賞 奨励賞	栗山和(2年) 澤野茉莉(2年)
平成31年度県民大学校ポスター図案	最優秀賞	吉田日向子(1年)
平成30年自衛官募集ポスターコンテスト	最優秀賞 優秀賞	能川愛美華(1年) 田川夢咲・南佳英(1年)
白山ロータリー加賀千代女イラストコンテスト	採用	越野翔船・本田安実・米永優花・阿部由佳・窪淳・室沢あかり(2年)
金沢弁護士会シンボルマーク、ロゴタイプ	採用	越野翔船(2年)
東急ハンスオリジナル年賀状デザインコンペ	採用	米永優花(2年)
白山東大寺領横江荘遺跡PR用Tシャツ	採用	大森春香(1年)・高田敦史(1年)
白山のめぐみぬり絵展原画	採用	大森春香・齋藤夏海・高田敦史・田川夢咲・西片花南・西原瑞葵・信木普合・端田涼花・三澤奏子・吉田日向子(1年)
白山市手話言語条例啓発用クリアファイル	採用	大森春香(1年)
北伸福祉会様 福祉・介護職ユニフォームデザイン	採用	越野翔船・栗山和・佐々木祥子(2年)
白山市選挙シンボルマーク	最優秀賞 優秀賞	南 杏佳(2年) 室沢あかり(2年)・大森春香(1年)・吉田日向子(1年)
第104回光風会展	入選	藤竹綾華・石垣美雪(研究生)
第103回二科展	入選	米川遥香(研究生)
第7回ホスピタル・ギャラリー	出品	米川遥香・石垣美雪(研究生)・多田紗野香・山本馨(2年生)
第23回七尾日創展	七尾市長賞 七尾市教育委員会教育長賞 中能登町議会議長賞 北陸放送社長賞 テレビ金沢社長賞 清願寺美術館館長賞 たち画材賞	木下邑名(研究生) 加納菜(研究生) 松木実穂(2年) 松山史佳(2年) 大森慧花(2年) 金田遥・早川知里(2年) 藤本麻那(2年)
第50回国際公募新院展	優秀奨励賞 秀作賞 入選	加納菜・木下邑名(研究生) 松木実穂・早川知里(2年) 松山史佳・大森慧花・金田遥・藤本麻那(2年)

第4回石本正日本画大賞展	入選	加納菜・木下邑名(研究生)
第13回公募白山日創展	北國新聞社社長賞 白山市長賞 白山市議会議長賞 白山市教育委員会賞 テレビ金沢社長賞 日創会理事長賞 特選 たち画材賞	加納菜(研究生) 木下邑名(研究生) 早川知里(2年) 大森慧花(2年) 松山史佳(2年) 松木実穂(2年) 金田遥(2年) 藤本麻那(2年)
第42回公募日創展 & 新院展選抜金沢展	小松市長賞 白山市長賞 白山市議会議長賞 石川県教育委員会賞 金沢市教育委員会賞 小松市教育委員会賞 白山市教育委員会賞 北陸放送社長賞 たち画材賞 特選 奨励賞 努力賞 採用	木下邑名(研究生) 加納菜(研究生) 松木実穂(2年) 早川知里(2年) 松山史佳(2年) 大森慧花(2年) 藤本麻那(2年) 金田遥(2年) 北嶋健太(1年) 中野航太郎(1年) 余門美晴・岩崎つばさ(1年) 金子侑生・中野舞奈(1年) 倉田葉々子・西田拓朗・長田菜・石原真佑(2年)
白山市議会だより表紙イラスト	制作	窪田榛名(1年)
白山市ふるさとデジタル紙芝居「鳥越城と加賀一向一揆の終焉」	漫画部門 学生賞	小川幸奈(2年)
2018サイコミ新人賞	石川県知事賞	南佳英(1年)
第33回石川の現代工芸展	現代工芸石川会理事長賞	扇成結衣(2年)

100万年に1度のカ



制作/奥出 真由(染色・陶芸コース)

4コマ漫画のコーナーは、美術学科学生の有志によって制作されています。同コースでは遊学館高等学校ホームページ「遊Yuコミック」での4コマ漫画の定期連載やイベントでの似顔絵描き、加賀千代女をテーマにしたアニメーション制作(YOUTUBEにて配信)等、幅広く活動しています。

図書館の一般開放

白山市民(18歳以上)の方であれば本学図書館の資料が閲覧できます。ご利用可能な日時は主に土曜日(10時~14時)ですが、短大行事や点検作業等ありますので、詳しくは図書館(076-276-4412)までお問い合わせください。

走り続ける金城短大卒業生のご活躍やメッセージをご紹介します

KINJO RUNNER

04
クリエイター
南部 成美
(2017年研究生修了)



「好き」を仕事に

私はフリーランスのクリエイターとして、デザインの仕事や作品制作、まちづくりやイベント運営など様々な活動に携わっています。金城短大美術学科を卒業していなかったら今の私はいないでしょう。昔から遊びで絵を描いたり何かを作ったりするのは好きでした。しかし、高校は福祉科で、美術の経験は中学校の授業で止まっていたため、美術系の高校出身や美術部の経験がある人達に混ざるとたん自信を失いました。その上、人前に立つことや目立つことも苦手。そんな私が大きく成長できた短大生活のお話をします。

最初は絵を描こうと思って入学しましたが、当時興味があったファッションコースを選択しました。服を作ったことはなかったのでとても新鮮で、絵に対する自信のなさとは関係なく、新しい気持ちで作品制作ができました。ファッションの制作をしていてわかったのが、自分は「日本」が好きだということ。和服を通して日本の美を再認識しました。卒業制作展では和紙でできた服や友禅染を取り入れた花魁衣装を作り、ありがたいことに優秀賞をいただくことができました。ファッションコースで一番大きなイベントであるファッションショーでは、自分の「好き」をこれでもかというくらいに詰め込み、これが私の世界観だ!と言えるようになったことを実感しました。

2年間では足りず研究生になった私は、

ファッションを通して見つけた自分の世界観を別の方法でも表現してみたいと思い、デザインコースを新たに選択しました。デザインの経験もなかったため、ソフトの使い方を学ぶことから始めました。基礎を学んでいない状態ですぐに作品制作となってしまいましたが、自分の表現の幅が広がったことに喜びを感じるようになったため、全ての制作を楽しめました。人に訴えかけ・伝えるという意識でデザインをしているうちに、さらに日本の魅力を伝えたいという情熱が溢れるようになりました。



研究生の冬、私の人生を大きく変える出来事がありました。俳優の伊勢谷友介さんが主催されている「現代版 松下村塾」という塾。自分の志をプロジェクト化するという内容の4日間だけの塾です。これまでの人生、大胆な行動は避けてきた私でしたが、葛藤の末、思い切って応募し、他の学生達が卒業展に向けて作品制作をしている中ではありましたが、私は1人東京に行きました。塾では志やプロジェクトの作り方を学び、また、それぞれの熱意や志を持った仲間達に出会うことができました。自分の日本の魅力を若者に伝えたいという思いは、「伝統文化×ポップカルチャー」というプロジェクトに。地元が伝統工芸の町で、父が彫刻師だったこともあり、その彫刻と、趣味であるコスプレを融合



させたポスターを作って発表しました。自分の思いを形にしたデザインを世の中に発信するという大きな一歩です。そのポスターは地元の方々に気に入られ、別の仕事へどんどん繋がりました。



研究生卒業後は就社せずに、金城と塾で学んだことを生かしてデザインの仕事や作品作りをして発信し続けています。これまでに、伝統工芸の職人さんと一緒に仕事をしたり、地元の彫刻会館のパンフレット、イベントのロゴやポスター、神社のお神酒の箱のデザイン、琴奏者の方に頼まれてジャケットのデザインもしました。また、クリエイターのマッチングイベントでのプレゼンや、まちづくりシンポジウムでパネリストとして登壇したり、地元を活性化するグループに加わり、東京での地元PRやイベントMCを頼まれたりなど、社会人2年でこんなにも様々な活動ができています。面白いのが、好きな日本文化や伝統に関わるお仕事ばかりにだけいて、好きなものを好きと言葉にし、作品を作って発信していると、自然とそのような出会いが増え、いつの間にか「好き」を仕事にすることに成功していました。そして、いつの間にか行動力が身につく、人前に立つことに抵抗がなくなり、最近は絵にも自信がついてきました。

今の生き方に不満はありません。東京の塾に参加したのも大きいですが、金城短大に入学したことが今につながる第一歩だったのだと思います。学校の環境も先生方も大好きで、今でもたまに恋しくなります。とても人生に重要な、濃い短大生活でした。

NEW インテリア・コーディネートコース 誕生!!

インテリアコーディネーターとは家具や照明をはじめ、カーテンや壁紙など空間を彩るもの全てをトータルに提案する人です。公共・商業施設や小売業などにも仕事の機会が広がっています。本コースでは、「インテリアコーディネーター資格」と「キッチンスペシャリスト資格」の取得を目指します。大学・短大では北陸初の、美術学科でインテリアを学ぶことができるコースです!



年間 PICK UP //

おいしいトコどり♪

とは金城大学短期大学の公式学生ブログです。各学科の授業やイベント、日々の雑記などのキャンパスライフを学生ブロガーが日々お届けしています。その中から選りすぐりの記事をご紹介します♪

オープンキャンパスに向けて & あおぞら美術館開催中

だいふ梅雨っぽくなってきましたね。こんにちは、あつし@ORANGEです。今日は、6月17日に行われるオープンキャンパスの準備を美術学科リーダー全員で行いました! 放課後残っていた先輩もお手伝いしてくれました(感謝)

その数なんと30,000!!

こんにちは!!夏の予定は決まりましたか?日焼けで真っ赤なちゃん@ORANGEです。みなさんは一里野高原スキー場に行ったことがありますか。私はやっぱり冬になるとスキー場に行きたくります

りんご試食会!!

こんにちは!あい@ORANGEです!今日は食堂で「青森りんご試食会」が行われました!青森県産のりんご2種類が配られました!

アウトドア演習二日目~サイクリング

こんにちは!あき@ORANGEです!アウトドア演習一日目に引き続き二日目の今日は、「サイクリング」をしました!暑い日でしたが、サイクリング日和になりました!

Shiny Leaders 2回目の研修~先生と名前が一緒!?

みなさんこんにちは!まゆみ@ORANGEです!みなさん、この間、「金短サミット」があったのは知ってますか?そこで、新しく「Shiny Leaders」というチーム名が出来ましたね!!そんな「Shiny Leaders」の2回目の研修をビジネス実務学科と美術学科で行いました!

パネルシアター

こんにちは!にっしー@ORANGEです!(-w-)幼児教育学科の一年生は夏休みの五日間を利用し、「パネルシアター」の準備、作成を行いました!

★西南幼稚園夏祭り★

こんにちは!eve@ORANGEです!2018.7.21(土)に西南幼稚園の夏祭りが行われました!!特化「音楽表現」を選択している私たちもお手伝いをさせていただきました!

新入生歓迎 B・B・Q!

こんにちは、あまね@ORANGEです。5月12日に美術学科の2年生による新入生歓迎バーベキューが行われました!まず最初に2年生、1年生混ざっての伝言ゲームをしました。